

会議の名称	平成30年度加東市地域包括支援センター運営協議会
開催日時	平成30年7月27日（金） 午後1時30分から2時35分まで
開催場所	加東市役所 2階 202会議室
委員長の氏名（澤井英昭） 出席委員の氏名	田渕 光 小野圭三 西田俊哉 山口雅隆 河合邦彦 武中千鶴子 井上朱実 澤井英昭 小林邦子 松本多美子
説明のため出席した者の職氏名	
出席した事務局職員の氏名及びその職名	健康福祉部長 丸山芳泰 高齢介護課長 鈴木敏久 副課長 平野好美 係長 三和田剛浩 高齢介護課 地域包括支援センター課長 藤本英子 副課長 高濱さおり
議題、会議結果、会議の経過及び資料名	<p>議 会</p> <p>1 挨拶</p> <p>2 委員長、副委員長の選任</p> <p>互選となっているが、事務局一任との声により、事務局案を提示し、承認があった。委員長は区長会推薦の澤井英昭委員、副委員長は民生児童委員連合会推薦の小林邦子委員に決定する。</p> <p>【議題】</p> <p>(1) 平成29年度事業報告について</p> <p>事務局から説明資料1に基づき説明</p> <p>【質疑】</p> <p>委員長 説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。</p> <p>何か質疑のある方いらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>委 員 任意事業の介護用品給付事業について、この事業を活用されている方々から直接声を聞く機会がありますので、意見させていただきます。排せつ機能の低下した方にとっては、紙おむつ、紙パンツ等を1日で複数枚使われており、1袋二、三十枚入</p>

りで 2,000 円前後と、本当に大変助かる事業だとほとんどの方が言われています。平成 30 年度予算では、若干減少傾向にありますが、必要な方にとれば経済的にも助かっているため、引き続き事業を継続していただければありがたいと考えています。

委員 説明資料 1 の 2 ページの総合相談について、権利擁護の相談件数については年々減少しており、逆に本来であれば増加していくのではないかと思います、その辺をどのように分析されていますか。3 ページの加東市民病院の院内相談窓口の総合相談件数が平成 29 年度は前年度に比べると半分以下の相談件数になっていますが、相談体制の変更など何か理由はありますか。また、病院の中には地域連携室があり、その中に相談窓口があるということですが、入院されている方や外来で受診される方からの相談が多いですか。

事務局 総合相談業務の権利擁護件数の減につきましては、現在、分析はできておりませんが、分析を急ぎます。また、加東市民病院内の相談窓口機能としては、地域包括支援センターの職員が相談を受けており、入院中の方も含めて、外来の方からも介護のことで相談があったり、病院の地域連携室から市役所に電話があり、相談をつなぐといったこともあり、件数は増えていないが、体制が変わったということではございません。

委員 権利擁護については、社会福祉協議会でも日常生活自立支援事業をやっており、傾向としては、以前であれば高齢者の契約者が多かったが、精神や知的障害のある方の権利擁護にかかわることが多くなっている。権利擁護についてはとても大事なことだと思うため、高齢者や障害者も含めて、加東市としての権利擁護への対応を検討していただきたい。その中で、社会福祉協議会としてもできることは一緒にやらせていただきたいと思っているため、よろしくお願いします。

事務局 地域包括支援センターでは、65 歳以上の高齢者が主になってきますが、当課では、別に障害者も含めた、いろいろな方の総合相談としての窓口を構えております。是非、社会福祉協議会の力もお借してください。

委員 説明資料 1 の 18 ページ、地域支援事業の任意事業の一つとして家族介護手当支給事業があり、県内 41 市町の内、30 市町ぐらいが支給しています。支給要件が各市町により若干違うと思いますが、要介護 4、5 で、1 年間、介護サービスを利用されなかった方に、10 万円から 12 万円程度支給する事業だと思いますが、予算額が 10 万円で決算額が 0 円になっており、対象者はいないのですか。

事務局 加東市での要件については、要介護 4、5 の在宅の方で、1 年間介護サービスを使っていない方となっており、介護サービスを使われていない方というのは現実的にいないという状況であり、平成 29 年度の該当者はいません。対象の方が少ないというのが実情です。

委員 所得要件はありますか。

事務局 所得要件はないですが、介護サービスを1年間利用されず、要介護4、5の方で在宅という要件があるため、ハードルが少し高いと思われる。

委員 市では対象者をピックアップするのか。それとも、申請主義ですか。

事務局 基本的には申請主義です。ただし、要介護認定の更新申請を受け付ける際には、当然ながら、その方がどのようなサービスを使われているのかを必ず聞き取り調査を行います。したがって、要介護4、5であり、なおかつ介護サービスを使わずにいらっしゃる方については、事業の案内ができると思うため問題ないと考えていますが、介護サービスを使わずに病院へ入院されるようなケースが多いというのが現状であり、実際は対象者の方がいらっしゃらないのが今の状況です。認定を受けられていない方ということになれば、把握は難しい。

委員 説明資料1の13ページの7)介護予防ケアマネジメント事業の総合事業について、平成28年度の委託件数が207件で平成29年度が823件と大幅に増えているのは、総合事業に移行したために、大幅に増えたのですか。

事務局 そのとおりです。

委員 介護保険の財源を考えると、総合事業へのシフトチェンジは制度上、仕方がないことだと思っていますが、総合事業の中で現行の通所介護相当サービスや訪問介護相当サービスを利用できる方の加東市の基準がわかりにくいという声が、ケアマネジャーや介護事業所の方々の中ではたくさん上がっています。平成27年度に加東市はほかの市町に先駆けて事業が始まったと思いますが、大半の方が相当サービスを利用されていないと思います。第7期介護保険事業計画49ページの通所介護相当サービスについては、平成27年度が0件、平成28年度が1件で、訪問介護相当サービスについても平成27年度が0件、平成28年度が10件となっており、全体的に基準がわかりにくいというような印象が加東市に蔓延しているのかなと思います。ケアマネジャーの認識も曖昧なところがあるため、総合事業についての評価や、協議する場としての説明会の開催や、明文化されたQ&Aがあればいいという声が上がっていますが、どのように考えられていますか。

事務局 相当サービスが利用できる基準については、地域包括支援センターが決めるものではなく、対象者が本当に相当サービスの利用に値するかどうかについて、本人や家族、担当されているケアマネジャーからの相談を受けながら、担当者会議を開いた上で、決めていくこととしています。総合事業についての評価はしていかなければならないと考えており、ケアマネジャーの方々とも協議をしていきたいと考えています。

委員 あくまでも担当者会議の中で本人の希望等を含めた上で、相当サービスの利用が妥当と思われる方については、適用していくということですが、事業所側としても周知していきたいと思いつつ、現状はかなり認識がずれているところもあり、地域包

括支援センターの了承をいただいた上でないといけないというような印象を持たれている方がたくさんいらっしゃるため、もう一度その辺も含めて協議できる場を開いていただけたらありがたいです。

委員 説明資料1の4ページの権利擁護業務の高齢者虐待対応状況の相談・通報対応件数について、例えば、家族や近所の人、それから施設やケアマネジャーなど、いろいろな方からの相談等があると思いますが、相談・通報の受け付けルートはどのようなかを教えていただきたいと思います。

事務局 手元に相談内容がわかるものがないため、それぞれの詳細はわかりませんが、施設内や近所の方から、どなり声が聞こえるということで民生委員を通じて地域包括支援センターに相談があったものもあります。ケアマネジャーからパワーバランスや介護ストレスによる虐待といったことも報告として上がってきます。それを課内で協議して対応させていただいているため、是非気になることがあれば、通報していただきたいと思っています。

委員長 それでは、質疑が出尽くしたようですので、この議案について異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、異議がないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。どうもありがとうございます。

## (2) 平成30年度事業計画について

事務局から説明資料2に基づき説明

### 【質疑】

委員長 説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。

何か質疑のある方いらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。

委員 先ほど紹介がありました説明資料2の2ページの在宅医療介護連携支援センターは、今年の春から小野市・加東市医師会が委託業務を受けて、医療と介護の連携、勉強会をしたいということで、本日、小野市・加東市医師会の担当で集まって協議しています。いろいろな皆さんの希望を聞いて、よりよいものにしていきたいと考えています。

委員長 質問が出尽くしたようですので、この議案について異議はございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 異議がないようですので、承認いただいたものとさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

(3) 平成29年度加東市地域包括支援センター自己評価について  
事務局から説明資料3に基づき説明

【質疑】

委員長 説明が終わりましたので、質疑に入りたいと思います。

何か質疑のある方いらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。

委員 説明資料3の5ページ、マネジメント支援について、ケアマネジャーからの相談が315件ということで、結構多いと思いますが、毎年度このぐらいの件数ですか。

また、件数は把握されていますが、今まで分類ができていなかったのですか。

事務局 誰からの相談であったかは分類しており、ケアマネジャーからの相談の件数が315件となっていますが、相談内容の分類はできていません。

委員 件数は増えてきているのですか。

事務局 毎年度、件数は集計しており、例年、これぐらいの件数はあります。ケアマネ支援として平成29年度は315件であり、増えてきていますが、内容は今持ち合わせていません。


委員長 質問はないようですが、全体を通して何か御意見、御質問はございませんか。


〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これにて本日の議事は終了いたしました。

閉 会

20年 8月 29日

委員長 澤井 英昭 

署名人 西田 俊成 

署名人 河合 邦彦 